

建築文化週間 学生グランプリ 2018

銀茶会の茶席 作品募集

テーマ

はな
「華」

日本建築学会では、全銀座会からの
依頼を受け、10月に銀座通り周辺で開催される

「[銀茶会](#)」*において銀座三越で展示され実際に
お茶席として使用される創作茶席の設計・制作案を募集します。

2017年実施制作

茶道に通じた依頼者のために誠意ある提案を行い、設計課題等のように1/10模型を作成して講評を受けるだけに留まらず、コンペによって入選した作品は1/1模型の制作を行い、その中でも最優秀賞を受賞した作品は銀座三越にて展示・使用を目的とした実施設計と制作を行います。

実際に使用される建築物を設計、制作する経験を通じて、同世代の仲間との交流や建築のおもしろさ、難しさを是非体験してください。創意あふれる提案を期待しています。

*「銀茶会」は、年に一度、銀座通りの周辺にお茶席を設けて行われる野点大茶会である。当日は、表千家、裏千家、武者小路千家、江戸千家、遠州流茶道、煎茶道の六流派のお茶席のほか、点茶の体験コーナーがあり、2018年で17回を迎える。2009年から、学生の設計・制作による学生創作茶席を展示・使用している。

※過去の受賞作品は[こちらのアーカイブ](#)よりご覧いただけます。

主催：日本建築学会
共催：全銀座会



1. 募集概要

テーマ：「**華**」(はなやか×銀座：銀座は国際性豊かに益々賑わいをみせております。品位のある華やかな街からテーマとしました。)

※2017年度よりテーマを設けたため、テーマに沿った作品を提案するよう注意すること。

対象：建築またはデザイン系の学校（大学院、大学、短大、高専など）に通う学生3名以上のメンバーで構成された設計チーム。構造系のメンバーを含めることが望ましい。

用途：「銀茶会」（詳細上記のとおり）で使用される創作茶席

規模：2畳を基本とし、縦4,000mm×横4,000mm×高さ2,400mm以内に収まるものとする。

材料・構造・仕上げ：自由

条件：・茶席での使用が安全に行えること。

- ・作品に壁がある場合は開放可能な（外からお点前の様子が見える）構造とすること。
- ・2つの入口を設けること。

著作権およびその利用：

作品の著作権は、作成者に帰属します。ただし、日本建築学会および日本建築学会が委託したものが、この事業の趣旨に則して作品を会誌またはホームページへの掲載、全銀座会による印刷物、展示などでの公表等に用いる場合は、作成者は無償で作品データ等の利用を認めることとします。

場所：日本建築学会、銀座三越新館9階テラス

審査方法：2段階審査

応募方法：下記提出物を、郵送・宅配便・電子メール等にて「5. 応募先・問合せ」へ送付、もしくは持参すること。なお、応募にあたっては下記事項に十分留意し、提出時に再度確認すること。

提出物：①応募用紙

[本会ホームページより所定の応募用紙をダウンロード](#)して必要事項を記入し、Excelデータにファイル名（作品名・代表者名）をつけ、電子メールにて下記提出先へ送ること。

②A1パネル1枚のPDFデータ

A1パネルのPDFデータにファイル名（作品名・代表者名）をつけ、応募用紙と同様に電子メールにて下記提出先へ送ること。

※①②提出先：日本建築学会 建築文化週間 学生グランプリ係 goryoda@aij.or.jp

③1/10模型

1作品ごとに積上げできる箱に梱包してあること。

④A1パネル1枚

スチレンボードまたはハレパネに貼り付けた状態で提出（サイズ厳守、額は不要）。パネルの裏面には印刷した応募用紙を貼り、表面には応募者を特定できる情報を記載しないこと。

注1)③④において、模型とパネルはそれぞれ梱包し、1チームごとに提出すること。（管理の都合上、同じ学校からの提出でも1箱に複数の作品を入れないこと。）提出先は、「5. 応募先・問合せ」参照。

注2)応募された作品は原則返却しない。特に返却を必要とする場合は、応募時に記入済みの着払い伝票を必要枚数分パネルへ同封し、別途応募用紙の備考欄にて選択すること。なお、運送費は応募者の自己負担（着払い）であり、返却は11月～12月頃を予定。提出物が不十分な場合は返却の対象外となるため留意すること。

応募締切日：2018年8月2日（木）17:00 必着（持参可）

2. 応募条件・サポート等

- 1) 応募作品は、応募者を含む学生ボランティアチームにて期間内に制作可能なものとする。学生ボランティアは原則応募者が募集する。
- 2) 第一次審査で入選したチームには、1/1 模型材料費として1チームあたり上限15万円ずつサポートする。原則として模型材料購入・運搬費とする。遠方のチームは旅費、宿泊費としても使用することができる。ただし、飲食費等には使用できない。
- 3) 入選したチームは1/1 模型制作説明会において、構造設計の専門家からエスキスチェックを受けることとする。
- 4) 第二次審査で最優秀賞のチームには、銀座三越の「銀茶会」において展示・使用される実施制作費として上限20万円をサポートする。
- 5) 実施制作する作品については、主催者が必要と認める範囲内において、第二次審査の1/1 模型から変更を求めることもあり得る。
- 6) 最優秀賞チームの「銀茶会」（銀座三越）への交通費・宿泊費・運搬費は自己負担とする。

3. 審査方法

下記の2段階審査とする。

第一次審査

日程：2018年8月9日（木）13:00～16:00

会場：建築博物館ギャラリー（東京都港区芝5-26-20）

提出物：応募時の1/10 模型、A1 パネル1枚

入選：3チーム

※入選したチームは、第二次審査までに1/1 模型の制作を行う

審査員：都合により変更することがある

<審査員長>

川合 智明（建築文化事業委員会委員長／竹中工務店執行役員設計本部長）

<審査員>

全銀座会

山本 豊津（東京画廊代表取締役社長）

木村 知弘（丹下都市建築設計副社長執行役員）

原田裕季子（相模屋美術店）

建築文化事業委員会

井上 宗則（東北大学大学院助教）

鵜飼 哲矢（九州大学大学院准教授）

大森 晃彦（建築メディア研究所代表）

加藤 詞史（加藤建築設計事務所主宰）

川勝 真一（RAD共同主宰）

斎藤 公男（日本大学名誉教授）

佐藤 淳（東京大学准教授／佐藤淳構造設計事務所主宰）

関野 宏行（佐藤総合計画取締役）
辻 琢磨（403architecture[dajiba]共同主宰）
濱野 裕司（竹中工務店東京本店設計部長）
松田 達（武蔵野大学専任講師／松田達建築設計事務所主宰）

第二次審査

日時：2018年10月7日（日）13:00～15:30

会場：建築会館イベント広場（東京都港区芝5-26-20）

提出物：1/1 模型（銀茶会での実施を見込んで制作する）、A1 パネル1枚

審査会場での制作期間：10月6日（土）～7日（日）13:00

賞：最優秀賞1点／優秀賞2点 ※共に賞状・記念品を贈呈

※最優秀賞のチームは東京・銀座で開催される「銀茶会」において、実際に銀座三越で展示・使用される茶席を実施制作する。また、展示期間中に使用される際には現地にてサポートを行う。

審査員：都合により変更することがある

<審査員長>

丹下 憲孝（丹下都市建築設計会長）

<審査員>

全銀座会

本阿彌守光（武者小路千家）

風間 喜一（表千家同門会東京支部事務長）

東海林憲昭（三越銀座店長）

伊藤 明（全銀座会催事委員長）

建築文化事業委員会

鵜飼 哲矢（前掲）

川合 智明（前掲）

斎藤 公男（前掲）

佐藤 淳（前掲）

4. その他のスケジュール

応募作品展示：8月4日（土）～12日（日）（建築博物館ギャラリー）

1/1 模型制作説明会（エスキスチェック）：8月16日（木）（日本建築学会 会議室）

銀茶会：開催日 10月28日（日）（東京・銀座三越新館9階テラス） ※雨天中止

設営日 10月24日（水）

展示 10月25日（木）～29日（月）

撤去日 10月29日（月）

5. 応募先・問合せ

日本建築学会 建築文化週間 学生グランプリ係

〒108-8414 東京都港区芝5-26-20 TEL：03-3456-2056 E-mail：goryoda@aij.or.jp